





Leading a Smart Society with New Mobility

www.evs31.org

主催 一般財団法人日本自動車研究所(JARI) 共催 公益社団法人自動車技術会(JSAE)



EV分野における世界最大の国際シンポジウム&展示会



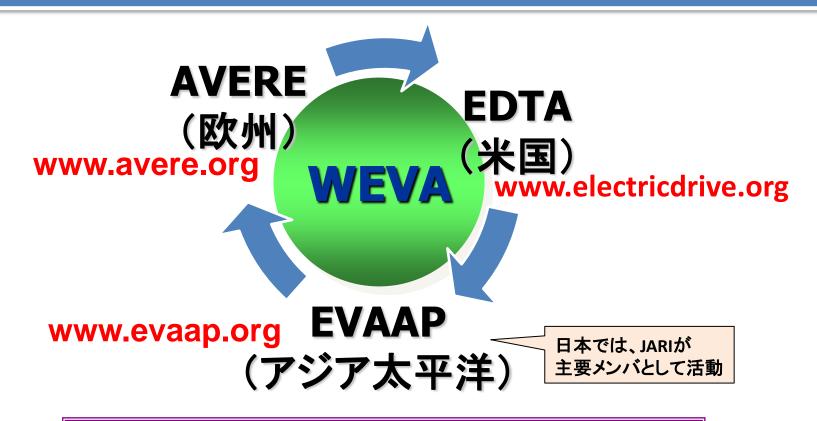
世界各国の研究者、技術者、政府関係者などが一堂に会し、EV技術や普及政策などについて論議し、今後の進むべき方向性を見い出す。また、一般の方々に最新のEV技術に触れていただく。

EVの技術開発と普及を促進

EVS: Electric Vehicle Symposium & Exhibition(和名:国際電気自動車シンポジウム&展示会) EV: BEV(電気自動車),PHEV(プラグインハイブリッド車),HEV(ハイブリッド車),FCV(燃料電池車)



「アメリカ、欧州、アジア太平洋」の三地域で交互に1~2年毎に開催



WEVA: World Electric Vehicle Association

➤ EVAAP: Electric Vehicle Association of Asia Pacific ➤ AVERE: European Electric Road Vehicle Association ➤ EDTA: Electric Drive Transportation Association

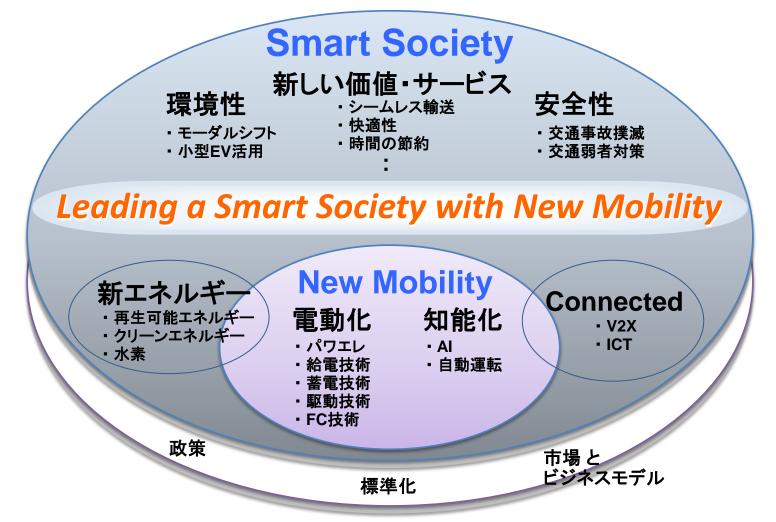


- 定動車両技術は進化を続け、当初の環境対策だけにとどまらず、電力系統との連携や、IT技術を駆使した「つながる社会」の具現化の中で新たな展開が今後予想される。
- ▶ EVS31は、次世代モビリティを核とした新しい社会像と 技術革新について国際的に議論する場とし、社会を 次のステップに導く契機とする。

EVS31開催コンセプト・テーマ



- ➤ 電動車両は、AIやIoT、自動運転技術等を取り込み、単なる移動・輸送手段 としてだけでなく、次世代モビリティとして新たな可能性を育みつつある。
- ➤ EVS 31では、次世代モビリティを取り巻く技術や、安全でクリーン、さらには 新たな価値・サービスを持つスマート社会について訴求する。



新しい価値・サービスの具体的イメージ



種類	具体的な内容
(1) 移動・輸送 空間のシーム レス化	①EVでどこでも(建物内等)乗り入れ可能 ②EVと他のモビリティ(鉄道等)とのリンク ③自動運転によるドアtoドア(高齢者・障害車も自由に移動)
(2) 所有から サービスへ	①快適空間の提供 ②リース・タクシー・バスのオンデマンド化 ③自動配送
(3) 時間の自由 度拡大	①移動時間の最短化(渋滞解消、他のモビリティとのリンク、 充車間通信・大容量充電による待ち時間減、リース・タクシー 等の自動出迎え、バスの位置情報通信による待ち時間減) ②移動時間の有効活用(自動運転) ③充電の自動化(自動駐車+非接触充電 or 走行中給電)
(4) エネルギー 源の多様化・ 省力化	①新エネ利用拡大(風力、水力、地熱、太陽光、水素等) ②エネルギー需給の双方向化(V2H、V2G、VPP等) ③隊列走行によるエネルギー消費減/航続距離増
(5) 安心の提供	①自動運転による事故ゼロ化 ②電欠回避(充車間通信による空き充電器位置連絡) ③セキュリティ向上(監視カメラ、追跡機能、オーナー認識)
(6) 癒しの提供	①車とのコミュニケーション

開催概要



■会期:2018年9月30日(日)~10月3日(水)

■会場:神戸コンベンションセンター

(神戸国際会議場・神戸国際展示場)

■主催:JARI

■共催: JSAE、WEVA、EVAAP



▲コンヘンションホール

- ■後援(予定含):経済産業省、国土交通省、環境省、兵庫県、神戸市、自工会、他
- ■実施内容:
 - (a) プレナリーセッション: 開会式、来賓講演、基調講演、技術講演、 パネルセッション、授賞式、閉会式
 - (b) テクニカルセッション:オーラル/ポスター(目標計300件以上)
 - ➤ 自動車技術会の EVTeC 2018*として共催
 - *EVTeC: International Electric Vehicle Technology Conference
 - (c) 展示会·試乗会(展示会出展社目標100社、250小間以上)
 - (d) テクニカルツアー
 - (e) ソーシャルイベント: 歓迎レセプション、ガラディナー
- ■参加予定者数: 700名~(国内500名~/海外200名~) 約40力国·地域

About Kobe



Kobe Convention Center

- ➤ Full-fledged facility composed of the international convention center and exhibition hall
- ➤ 1h from Kansai International Airport



Environmentally conscious Smart City

- Hydrogen Smart City
- EV charging station network
- Micro EV rental, etc.



Multi Attractive Tourist City

International trade port, 1.5 million population



全体プログラム(案)



20	018年		午前	ĬÍJ		午後		タ方/夜			
9/30 (日)	展示場			く プレ	展示会・試乗会 <プレスデー・パブリックデー>				歓迎 レセプシ:		
	コンヘ [*] ンション ホール	B	開会式	*来賓/基調講	講演		技術記	講演	パネルセッション		
10/1 (月)	会議場			テ	クニカルセッ	ション					
	展示場				展示会・	試乗会	ホ°スター	セッション	,		
	コンヘ [*] ンション ホール	基調	講演		7:	クニカルツアー@:	神戸近郊		パネル セッション		
10/2 (火)	会議場				テクニカル	セッション				カ [*]	ラテ゛ィナー
	展示場				展示会・試乗会						
10/3	コンヘ [*] ンション ホール	基調	講演				パネル セッション	授賞:	t·閉会式		
(水)	会議場			テクニ	ニカルセッショ	ン					
			午前	iij		午後			夕方/夜		

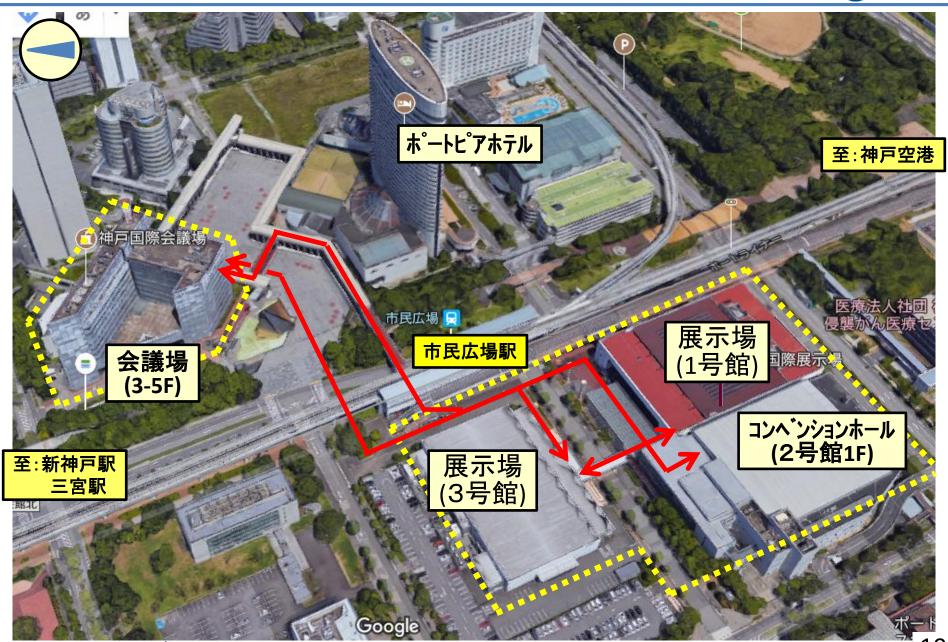
- ※ テクニカル/ポスターセッションは、自動車技術会のEVTeC 2018として共催
- ※ 会場設営、展示会·試乗会準備日程:9/28(金)~29(土)

展示会・試乗会撤去日程:10/3(水)

詳細決定次第、公式ウェブサイトにて提示

会場全景(神戸国際会議場・展示場)





画像:Googleマップより

10



講演形式	候補者
来賓講演 Guest Speech	経済産業省 大臣政務官(予定)調整中
基調講演 Keynote Speech	自動車メーカー・団体の役員クラス、または政府関係者 ・日本:日産自動車 坂本取締役・副社長、 トヨタ自動車 安部常務理事、 本田技術研究所 三部取締役 専務執行役員 四輪R&Dセンター長 ・海外:中国、北米、欧州、各地域から招聘調整中
パネルセッション Panel Session (パネリストプレセ゛ン 十テ゛ィスカッション)	セッション1:テーマ例「スマート社会を支えるコネクテット [*] 技術とは」 ・モテ [*] レータ:総研会社 ・ハ [°] ネリスト:国内外企業統括責任者
一 	セッション2:テーマ例「EVが導くスマート社会、その将来イメージ」 ・モデレータ:ジャーナリストor大学有識者 ・パネリスト:国内外企業、研究所、大学有識者
	セッション3:テーマ例「次世代給電技術とインフラ将来像」 ・モデレータ: ジャーナリストor大学有識者 ・パネリスト: 国内外企業、研究所、大学有識者

参加者募集(参加登録料ほか)



- ・参加登録は、公式ウェブサイトより受付中です(URL www.evs31.org)。
- 早期事前登録がお得です。

【基本チケット】

(金額:税込)

	料	金	参加範囲					
	早期事前 '18.8.20まで	事前/当日 '18.8.21以降	プレナリ ※1	テクニカル セッション	展示会	試乗会	歓迎 レセプション	
参加登録証(一般)	¥55,000	¥60,000	0	0	0	0	0	
参加登録証(学生)	¥20,000		0	0	0	0	0	
プレナリ券	¥20,000		0	×	0	0	0	
展示会·試乗会券	無料(オプション券購入不可)		×	×	0	0	×	

【オプションチケット】

※1:開会・閉会セッション、基調講演、技術講演、パネルセッション

	料金(早期設定なし)	備考			
ガラディナー券	¥5,000	・先着順、ゲスト券と合わせて定員あり			
テクニカルツアー券	¥2,000	・先着順、定員45名、訪問先∶岩谷産業様、関西電力様※2			
ランチ券	¥1,500				
ゲスト券	¥20,000	・参加登録証購入者のみ、2枚まで購入可 ・参加範囲:ガラディナー、歓迎レセプション			

※2:詳細は、公式ウェブサイトをご確認ください。

出展社募集



- 国内外のさまざまな企業から出展を募集しております。
- ・世界各国から参加者が予定されております。この機会をご活用ください。

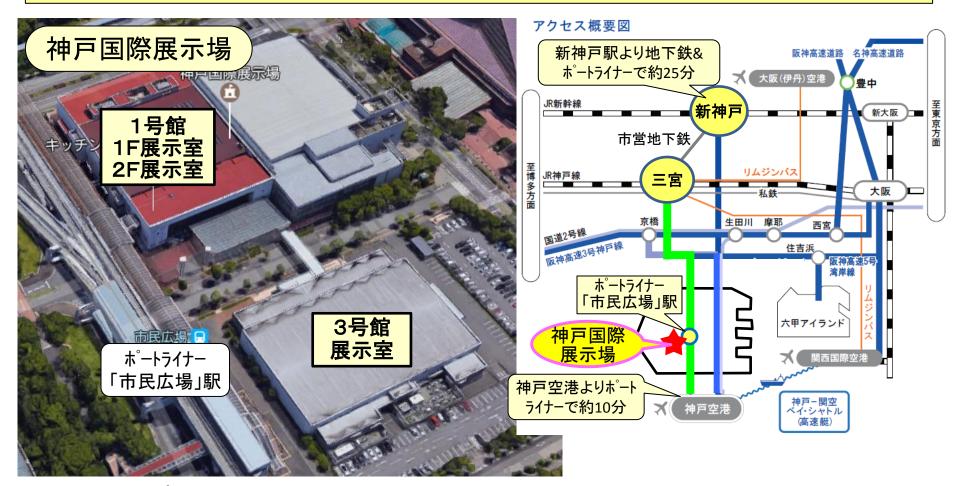


写真:googleマップより

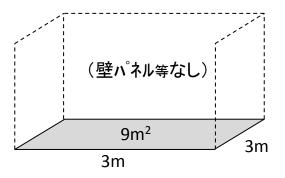
図:神戸コンベンションセンターHPより

出展社募集(出展費用)



基本料金	▶1小間(9m²=3m×3m)、スペース渡し:324,000円(税込) ▶学術・研究展示の場合:1小間237,600円(税込、パッケージ装飾含む)
	 パッケージ装飾費:1小間あたり129,600円(税込) 電源追加工事:13,000円/kW程度(税込) 通信設備工事:1回線(光回線)13万円程度(税込) 受付机やイスなどの一般的なレンタル品も用意
特典	プレナリ券(12ページ参照)を提供・提供枚数:出展小間数 1小間…1枚、2~5小間…2枚、6小間以上…3枚➤EVS31ホームページ上に出展社ホームページのリンク付け

【基本料金】1小間、スペース渡し



- ・電源工事:一次配線のみ (コンセント無し、単相100V/300W)
- ・社名板:無し ・照明器具:無し
- ・床面カーペット:無し

【主なオプション】

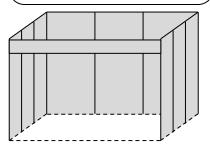
電源工事

- 100Vまたは200V
- •1kWあたり13,000円程度

通信設備工事

- ・NTTフレッツ光(ギガライン)
- •1回線130,000円程度

パッケージ装飾セット



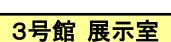
- 横・背面パネル
- •社名看板
- 床面カーペット
- -照明
- ・100V300Wコンセント(2口)
- ・受付机、イス

展示会場ゾーニングプラン案

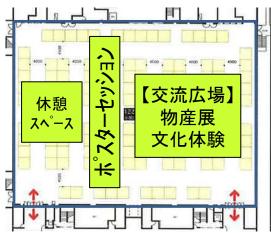


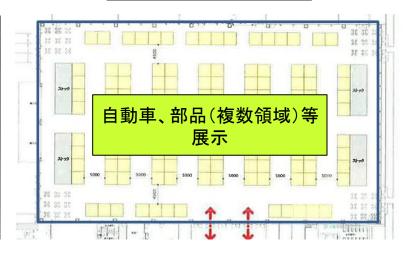
1号館 1F展示室

1号館 2F展示室











▲1号館 1F展示室 (3000m², 3t/m²)

図:コンヘンションリンケージ 提案書より 写真:神戸コンヘンションセンターHPより



▲1号館 2F展示室 (3000m², 1t/m²)



▲3号館展示室 (3800m², 5t/m²)

スポンサーシップ企業募集



- EVS 31運営について、協賛を募集します(募集期間:12/1~1/31)。
- ・さまざまな特典がございますので、ぜひご検討をお願いいたします。

	スポンサー区分	プラチナ	ゴールド	シルバー	ブロンズ
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	432万円	324万円	162万円	54万円
	プレナリ会議場に社名ロゴ投影	0			
	登録エリアに社名ロゴ掲示	0			
/ a* > .1	ガラディナー会場に社名ロゴ掲示	0	0		
イベント会場等	試乗会場に社名ロゴ旗掲示	0	0		
本物 可	歓迎レセプション会場に社名ロゴ掲示	0	0	0	
	パネルセッション会場に社名ロゴ投影	0	0	0	
	スポンサー看板の設置	0	0	0	0
会議	会議室内セッション間にCM投影	0			
云祇	会議室内セッション間に社名ロゴ投影	0	0	0	0
	当日プログラムへの広告掲載	○1頁	○1/2頁	〇1/2頁	
	印刷物に社名ロゴ掲載	0	0	0	0
印刷物	参加者用バッグに社名ロゴ印刷	0	0	0	0
	参加者用バッグに差込み	0	0		
	参加者用ネックストラップにロゴ掲載	0			
	ホームページトップページに社名ロゴ掲載	0	0	0	
ウェブ	ホームページ(スポンサー紹介ページ)に社名ロゴ掲載	0	0	0	0
	ホームページ(スポンサー紹介ページ)に製品写真掲載	0	0		
	展示会小間選択優先権	0	0		
<u>原生</u>	記者発表会優先権	0	0	0	
優先権等	参加登録証	〇 8枚	〇 6枚	〇 3枚	〇 1枚
	ガラディナー招待券 3枚	0	0		
7L2 T	ガラディナーでの挨拶	0			
スピーチ	歓迎レセプションでの挨拶		0		1

協賛アイテム企業募集



・EVS 31運営について、協賛アイテムも募集します(募集期間:12/1~)。

No	協賛アイテム	仕様	協賛金額 (税込)	募集数
1	当日プログラムへの広告掲載A	1ページ フルカラー	180,000円	_
2	当日プログラムへの広告掲載B	1/2ページ フルカラー	90,000円	_
3	文房具(ノート)	企業名/ロゴ入り(参加者全員に配布)	250,000円	1社
4	文房具(3色ボールペン)	企業名/ロゴ入り(参加者全員に配布)	200,000円	1社
5	扇子	企業名/ロゴ入り(参加者全員に配布)	750,000円	1社
6	ポケットティッシュ	企業名/ロゴ入り(参加者全員に配布)	75,000円	1社
7	ウェットティッシュ	企業名/ロゴ入り(参加者全員に配布)	150,000円	1社
8	コーヒーブレークA (ドリンク分)	案内看板に企業名/ロゴ掲載 <u>国際会議場内</u> 3か所設置予定	300,000円	1社
9	コーヒーブレークB (ドリンク分)	案内看板に企業名/ロゴ掲載 <u>展示会場内</u> 3か所設置予定	300,000円	1社
10	コーヒーブレークC (茶菓分)	案内看板に企業名/ロゴ掲載 <u>国際会議場内</u> 3か所設置予定	300,000円	1社
11	コーヒーブレークD (茶菓分)	案内看板に企業名/ロゴ掲載 <u>展示会場内</u> 3か所設置予定	300,000円	1社

主なスケジュール



	年	2017	2018				
	月	10	1	4	7 <mark>1</mark> 0		
EVS		EVS30(10/9- ト・イツ・シュトゥットカ・			EVS31@神戸 (9/30-10/3)		
テクニカルセッション 発表論文		アブストラク 募集終了	7	△ 論文採否通 △	知(4月) ▲Proceeding発行 論文原稿締切(6月末)		
参加登録		参加者募集中(早期事前申		前申込:'18.8.21~	~9.20(当日受付有)		
出展		出展社募集中		▲2次締切 ▲比 (4/10)	出展社説明会(6月) (∴最終締切(8/10))		
スポンサー		スポン	ンサー募集中(12 ▲申込締切(·			

【事務局連絡先】

第31回国際電気自動車シンポジウム・展示会 事務局

(株)コンベンションリンケージ内

TEL:03-3263-8695/FAX:03-3263-8693

E-mail: info@c-linkage.co.jp

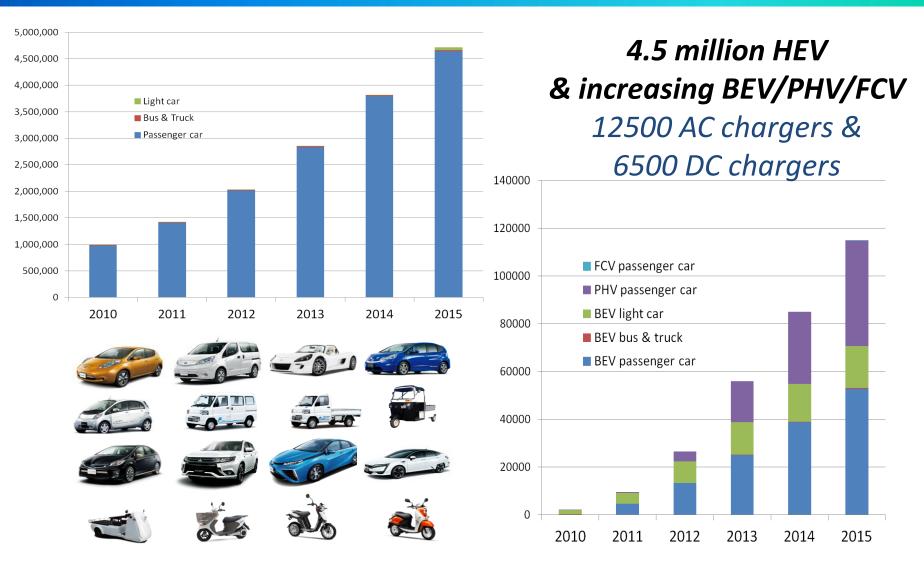
公式ウェブサイト: www.evs31.org



Reference



JAPAN, one of the most EV conscious countries





1969年から開催。今年で47年目、計29回開催。

EVS#	開催年月	玉	開催地
1	1969/11	米国	Phoenix, AZ
2	1971/11	米国	Atlantic City, NJ
3	1974/02	米国	Washington D.C.
4	1976/09	ドイツ	Dusseldorf
5	1978/10	米国	Philadelphia, PA
6	1981/10	米国	Baltimore, MD
7	1984/06	フランス	Versailles
8	1986/10	米国	Washington D.C.
9	1988/11	カナダ	Toronto
10	1990/12	香港	
11	1992/09	イタリア	Florence
12	1994/12	米国	Anaheim, CA
13	1996/10	日本	大阪
14	1997/12	米国	Orlando, FL
15	1998/10	ベルギー	Brusseles
16	1999/10	中国	北京

EVS#	開催年月	围	開催地
17	2000/10	カナダ	Montreal
18	2001/10	ドイツ	Berlin
19	2002/10	韓国	釜山
20	2003/11	米国	Long Beach, CA
21	2005/04	モナコ	
22	2006/10	日本	横浜
23	2007/12	米国	Anaheim, CA
24	2009/05	ノルウェー	Stavanger
25	2010/11	中国	深セン
26	2012/05	米国	Los Angeles, CA
27	2013/11	スペイン	Balcerona
28	2015/05	韓国	高陽
29	2016/05	カナダ	Montreal
30	2017/10	ドイツ	Stuttgart
31	2018/10	日本	神戸(予定)

近年のEVS開催状況



	日程	2017年	10月9~11	l目	会場	N	∕lesse Stuttga	rt	
EVS30	登録者	1,083人	論文数	471件	出展社	354社	展示会場	未確認	
ドイツ	主要出席者	バーデン=ヴュルテンベルク州長官、ドイツ連邦教育・研究省副大臣 委員会エネルギー部門副委員長、Daimler取締役、Groupe Renault上 長、他							
	日程	2016年	6月19~22	2日	会場	Palais des mongres de Montre			
EVS29	登録者	571人	論文数	351件	出展社	139社	展示会場	未確認	
カナダ	主要出席者	カナダ天然資				シトリオー	ル市長、米国	エネルギー	
	日程	2015年	F5月3 ~ 6Ⅰ	B	会場	KINTE	EX 韓国国際原	展示場	
EVS28	登録者	702人	論文数	329件	出展社	142社	展示会場	11,000 m²	
韓国	主要出席者	韓国セヌリ党党首、環境大臣、米国エネルギー省先進電池材料技術開発マネジャ、現代上級副社長、LG副社長、GMエグゼクティブディレクター、ルノー上級副社長、日産アライアンスグローバルディレクター、他							

データ: (一財)日本自動車研究所調べ

EVS in Japan



